

野外教育×デジタル技術の現在地 -青少年教育施設における実践と可能性-

Rethinking Outdoor Education in the Digital Age: Practices and Possibilities
from Youth Outdoor Learning Centers

- 企画者 甲斐知彦（関西学院大学）、蓮見直子（国立青少年教育振興機構）
協力者 西垣幸造（尼崎市立美方高原自然の家・関西学院大学）、松井陽大（関西学院大学）
登壇者 日高由樹氏（国立諫早青少年自然の家）、阿部広之氏（国立信州高遠青少年自然の家）
杉本守氏（国立那須甲子青少年自然の家）、秋山洋氏（国立曽爾青少年自然の家）

■シンポジウムの概要

現在、青少年教育施設等において進められているデジタル技術活用の実践事例を紹介し、野外教育におけるデジタル技術導入の可能性を模索したいと考えております。具体的には、日高由樹氏（国立諫早青少年自然の家）からは、防災教育をテーマにしたアプリの活用事例を、阿部広之氏（国立信州高遠青少年自然の家）からは、近隣の学校と連携したARアプリによる活動展開の構想について、杉本守氏（国立那須甲子青少年自然の家）からは、ARアプリを活用した活動を近隣の青少年教育施設へ展開することを想定した体験会の取り組みについてご紹介いただく予定です。また、加えて、秋山洋氏（国立曽爾青少年自然の家）からは、Matterportを使った3Dバーチャル館内ツアーについてご紹介いただく予定です。これらの実践事例を通して、皆さまとともに野外教育におけるデジタル技術活用の可能性や課題について意見交換をできればと考えております。